

第6章 京成成田空港線(成田空港～印旛日本医大) 芝山鉄道(芝山千代田～京成東成田) 東成田線(京成東成田～京成成田)

2023年2月5日(日)快晴、2010年7月に開業となった”成田スカイアクセス(京成成田空港線)”(印旛日本医大～成田空港:営業キロ19.1km)や日本一短い鉄道”芝山鉄道(東成田～芝山千代田:2.2km)などに挑戦する。久しぶりにリベンジでない歩きとなる。本日のコースは成田空港が絡み、また成田スカイアクセスが地下を走る箇所が多々あったため、地図や地元の人のお世話になり、無事当初の目標を達成する。偶然にも2000年5月3日(水)から起算して、本日の歩きが**700日目**と記念すべき日となった。しかも、日本を代表する成田空港をからめた歩きを楽しむことができ、最高の歩き節目となった。これで通算営業キロは**1万4千200km(活動日数700日、日本の鉄道の51.3%、地球円周の35.5%)**となる。



※日暮里駅



※京成成田駅

本日の歩きは急遽思いつく。4時頃起床し、日暮里、京成成田経由で芝山千代田駅まで移動し臨む。京成成田駅ではリュックを背負った人達と出会う。京成成田駅より京成東成田線と芝山鉄道を乗り継いで芝山千代田駅に向かう。東成田駅は京成本線を經由し東成田駅少し手前で別れた京成成田線に繋がっていた。それ故、東成田駅から成田空港駅または空港第2ビル駅までを踏破すれば京成成田線を踏破としたと見なし臨んだ。各駅舎到着は次の通り。

芝山千代田(9:01)～東成田(9:35)～(成田空港)～空港第2ビル(9:51)～成田湯川(14:19)～印旛日本医大(17:05)

<芝山鉄道・東成田線>



※芝山千代田駅





※芝山千代田駅

①芝山千代田駅から東成田駅さらには空港第2ビルまで国道295号線があるものの、果して歩けるかどうか不安一杯で臨んだ。芝山千代田駅に到着するや否や驚いた。それは東成田駅から芝山千代田駅までPASMOが使用できなく、現金200円を支払い、この駅で下車した証明書を渡され、「PASMOがある駅でこの証明書を手渡し精算して下さい。重要な証明書ですから紛失しないで下さい」との古い懐かしい対応であったからだ。当初は印旛日本医大駅で精算を考えていたが、急遽東成田駅に変更する。埴輪が印象的な芝山千代田駅を種々のアングルで撮影後、東成田駅を目指す。鉄道の上側に出て、飛行機が離陸する風景を堪能しながら国道295号線を歩く。途中、500m位続く2か所の通路を経由して東成田駅に向かう。東成田駅には9時35分到着。この駅でPASMO精算(947円)し、成田空港駅方面を目指すこととする。運よく、東成田駅から空港第2ビル駅に向かう専用の通路(500m)があった。この通路に出るや否や従業員の方1名にあった。それ故、貸し切り状態で、ラッキーにも空港第2ビル駅(9時51分)に到着できる。駅構内には東成田駅への案内や日本一短い芝山鉄道の広告があった。



※芝山千代田駅、東成田駅への路



※東成田駅への路



東成田駅



※空港第2ビル駅への連絡口



※空港第2ビル駅

<京成成田空港線>

②成田空港駅から京成臼井駅までの営業キロ 23.6km を 2013 年 7 月 21 日 (月) 踏破したので、成田空港界隈の苦労した残像が脳裏に多少あった。本日も空港関係者などのお世話になり成田駅界隈を脱出し、国道 295 号線 (空港通り) に合流することができる。途中、芝山方面や東成田駅への標識があった。10 時 43 分、10 年前に通過した取香橋 (とっこ) があった。10 時 49 分、成田市街 6 km、土浦 50 km と記した標識前を通過。淡々と国道 295 号線を歩く。11 時 41 分、大山二号橋を渡り、高速道路を渡る。高速道路を渡った先で誤ってホテル界隈の方向に進行するが、駐車場係員の方にお伺いし、成田湯川駅への道筋に合流することができる。色な国名や日本の観光地などが表示された歩道を歩く。12 時 26 分、県道 51 号線に出る。ここから国道 295 号線から国道 408 号線に入り、直進する。ここから成田湯川駅遠し、途中で誤った方向に進行しようとするが、地元の人々の助けを得てリカバリーできる。



※成田空港駅界限



※国道 295 線への路



※取香橋、国道 295 号線



※大山二号橋、歩道に法隆寺駅、県道 51 号線手前



※国道 408 号を歩く

13 時 3 分、JR 線下を潜る。間もなく歩くと京成成田空港線の高架した線路が登場する。同時に鉄道に沿った幹線道路が登場。しかし、幹線道路に上る道が近くにはなく、150m 位戻りやっと幹線道路に合流することができる。分離した歩道がないので、このまま直進するか否か右往左往する。しかし、迷った挙句車に注意し直進する。暫く歩いた先で成田ニュータウンに行く道筋があった。正解は左折するこの道筋を進めば成田湯川駅に到達できたのであるが、誤って直進する。途中左手に成田湯川駅が見えるが、国道 464 号線から降りることができない。松崎トンネルを越え暫く直進するが、一向に下に降りる路は見当たらず、やむも得ず 13 時 51 分引き返す決断をする。成田ニュータウンへの道路に戻る。14 時 10 分、JR 成田線下を潜る。やっと成田湯川駅には 14 時 19 分に到着する。営業キロ 9.5 km に 4 時間半要する。後編に続く！！



※やっと京成成田空港線が登場



※左手に成田湯川駅、松崎トンネル、右手に成田湯川駅（リカバリーの道筋）



※成田湯川駅への路



※成田湯川駅

③成田湯川駅界隈を種々のアングルで撮影後、営業キロ 8.4 km 先にある印旛日本医大駅を目指す。14 時 44 分、公津原古墳群前を經由し、成田の街並みを堪能する。20 年位前、成田から印旛沼経由で印旛日本医大に向かって歩いた微かな記憶があるが、その旅日記が見つからない。15 時 21 分、国道 464 号に近づき合流する。15 時 25 分頃から暫く右手に印旛沼の表情を観察しながら歩く。16 時 33 分、成田エクスプレスと対面する。16 時 40 分、夕日が綺麗な松虫ランプ橋を通過。間もなく歩くと印象的な印旛日本医大の建物が見えて来る。誤って道路に降りる。しかし、左手には印旛日本医大駅があるが、国道 464 号が邪魔して駅舎には到着できず。10 分位大回りしてやっと

17時5分、印旛日本医大駅に到着できる。駅界限には東横インがあるのにビックリした。



※成田湯川駅前、公津原古墳群



※国道 464 号に近づく、印旛沼を背景に



※印旛日本医大駅への路、成田エクスプレス



※印旛日本医大駅近し



※印旛日本医大駅





※印旛日本医大駅

④印旛日本医大 17 時 17 分の羽田空港行きで押上まで移動。途中、東松戸駅で成田エクスプレスの通過待ちがあった。20 数年前の光景と全く異なるので驚いた。押上 18 時 16 分の東急半蔵門線を活用し自宅へ。自宅到着は 20 時 7 分で、万歩計は 61,378 歩だった。途中で悪戦苦闘したが、活動日数 700 日をお祝いするのに相応しい一日となった。一方、これで京成電鉄の整理旅を完了することができ大満足の日となった。



※印旛日本医大駅